

チロリ通信！VOL.15 (2018.4)

発行元：NPOしづおかセラピードッグサポートクラブ
〒410-0036 沼津市平町24-4-902
電話&FAX 055-962-3190

<http://npo-stds.com/>



1、国際セラピードッグ協会大木トオル代表の講演会開催！

2018年2月3日の国際セラピードッグ協会の大木トオル代表の講演会には多くの皆様にお集まり頂き、本当にありがとうございました！

大木先生のお話は度々伺っても感動的であり、命の大切さや動物愛護の気持ちの必要性を再認識させられました。

聴衆の皆さんの中では、ほとんどの方が人間のわがままで保健所に収容され、殺処分の運命となり、ガス室に入れられて苦しみながら死んでいく犬たちの日本の現実は知らなかつたのではないでしょうか？

動物先進国である欧米諸国、特にドイツでは第二次世界大戦で600万人のユダヤ人をガス室で殺処分した苦い経験から、殺処分自体行っておらず、動物の命を大切にする法律と社会が整備されています。

その他の国でも、注射等による安楽死を行うことはあるものの、ガス室はありません。

大木氏はこれまで動物行政の根幹となる動物愛護法の改正に取り組み、国会議員などに働きかけて少しずつ改善してきましたが、本年改正の年であることから、日本におけるガス室の廃止を求めています。

この他、原発被害で苦しむ福島県において、人間がいなくなつた後に残された被災犬のレスキューの様子や野犬化したそれら犬たちのセラピードッグへの育成の苦労など、行政も対応が出来ない中で奮闘されている状況は、我々サポートクラブとして精一杯支援していきたいと感じさせられました。今後とも、多くの皆さんのご支援をよろしくお願ひ致します！



2、捨て犬・命のレスキュー記録！幸せになったワンコたち

① 柴Mixのリキ君 (H29/5譲渡) (笠井清美)

平成28年8月、富士保健所よりレスキューした柴Mixのリキ君。人間とのコミュニケーションが少なかった過去をもっていたリキ君でしたが、預かりさんの愛情で優しい、穏やかなワンコになっていきました。

里親さまとのご縁には繋がりませんでしたが預かりさんがリキ君を「家族」として迎え入れてくれることになり、リキ君の新しい犬生は始まりました！

優しいご家族、飯田さんはリキ君を預かってくれた時から「いつでもうちのコにしますから」といってくださってました。リキ君以外の先住犬も保護犬でした。

そんな愛情深い飯田さん宅のワンコになったリキ君。この嬉しそうな表情、見てください！リキ君、本当の幸せ掴みました！おめでとう！



② フジちゃん (H29/11譲渡) (志田はる美)

富士市の今泉で保護されたフジちゃん、期限が過ぎても飼い主さんが現れず、私達クラブが保健所から引き出し、私が一時預かりをすることになりました。

人懐こく従順な性格でしたので、里親様が見つかる迄、可愛がって貰えるようお座り、伏せ、お手を教えました。（→次ページに続く）



フジ

③きなこちゃん (H30/1 謙渡) (志田はる美)

柴犬のきなこちゃんは、富士市で迷子になり飼い主さんが期限を過ぎても現れず他のボランティアさんを通じて譲渡されましたが、譲渡先から脱走し、また保健所に保護されたワンコでした。元の飼い主さん、二度目の里親さん宅で辛い思いをしたのか、ほうきや杖にとても敏感な反応を見せました。函南役場での譲渡会に、富士市からお越し頂いた高梨様に気に入ってくれ、やっと安心出来て安らげる家族と巡り逢えたきなこちゃん、幸せを掴みました！



きなこ

④老犬のさくらちゃん

(H29/6 謙渡) (笠井清美)

老犬のさくらちゃんは静岡市の愛護センターに収容されていました。

センターの迷子犬として掲示板を見たとき、以前クラブでレスキュー、預かりさんの元で天国に旅立った「チロ君」にそっくりだったこともあり、私自身がずっと気になっていたワンコでした。

なんとか幸せにできないか？と引き出しを考えていた時にクラブに問い合わせあった沼津市の清水さんとのご縁に繋がり、さくらちゃんは清水さん宅のワンコとなったのです！老犬であること、腫瘍もあり、もしかしたらお別れも近いかもしれないこと、現実をきちんとお伝えしての譲渡になりましたが里親の清水さん、「共に一緒に生きていきます！」と力強く約束してくださいました。今ではさくらちゃんは、ご近所でも評判の「癒し系ワンコ」となり、元気に過ごしているそうです。尊い命がまた、救われました。老犬との生活は大変なこともありますですが、それ以上に大きな幸せを与えてくれます。さくらちゃん、良かったね！（※残念ながら H30.3.18 虹の橋を渡りました）



さくら

⑤ ロクちゃん (H29/10 謙渡) (笠井清美)

狩猟犬であったと思われるロクちゃんは、小山町で保護、富士保健所に収容されていました。

性格が穏やかで優しい美人ワンコであったロクちゃんをなんとか助けたい！と地域のボランティア団体さんと共に奔走し、最終手段として Facebook で問い合わせしたところ、伊豆の国市の桜庭さんが里親の名乗りを申し出てくださいました！

桜庭さんはラジオのパーソナリティをしており動物愛護に大変高い意識を持った方で、以前私もラジオ番組にも出演させていただき、先住犬もいる環境でしたが、安心してお任せできる方です。

富士保健所から伊豆の国市までの道中、ロクちゃんは本当におとなしかった。桜庭さん宅に着いてからも良い子でした。脱走対策や病院診察などのいろいろな約束事もしっかりしてくださる桜庭さんに、ますます安心してお任せできると感じました。

「ロクちゃん」の名前の由来は先住犬の名前が「ハチちゃん」だから(*^*)ハチとロク。今ではずっと家族であったかのように生活しているそうです。ロクちゃん、あたたかい家族ができて良かったね！ありがとうございました！



ロク

⑥ ひかり☆（笠井憲司）

H29年11月に保健所から家族を迎えるました。名前は「ひかり」。推定8歳、フィラリア陽性20+、前肢に腫瘍を持った獵犬風のガリガリの女の子。診察してもらうと癌を患っており、1ヶ月で食が細くなる様であればその時は…絶対安静の診断。「クリスマスを迎えるかな」「お正月は一緒に…」「次はバレンタインだね」と迎える毎月に共に生活を出来る事だけ祈りながらお世話を私達。でも当のひかりは…「親の心子知らず」とはこの事。食欲旺盛♪お散歩大好き♪天真爛漫な彼女は、癌である事以外他と変わらず今を力強く生きてます！そんな彼女に助けられ、命のカウントダウンからいつしか幸せな日々を数える生活になりました。これからも楽しく行こうね、ひかり！



平成29年度活動報告

1. 静岡県動物管理センター＆浜松動物愛護教育センター視察（4/5）

静岡県で犬猫を殺処分する場所は浜松にある県動物管理センターです。私たちボランティア団体は「浜松送りにならないように！」と活動してきましたが、実際に現地を訪れるのは始めてでした。

10数年前に比べれば殺処分数は減りましたが、このガス室で亡くなった何万頭にもものぼる犬猫のことを考え、殺処分ゼロへの想いを強くしました。



2. 犬の勉強会開催(5/13、12/10)

クラブメンバーでもあり、ドッグトレーナーとして「DOG LABS～WITH ALL ONE'S HEART」を開業している長谷川竜也さんにより、犬に対する理解を深める座学を2回開催。「へえ～知らなかった！」など目からウロコの勉強はとても楽しく受講することが出来ました。今後も継続的に開催していきます！



3. だがしや楽校@三島大社(8/27)

第10回街中だがしや楽校が開催され、クラブとしては7年連続での参加となりました。これまで、子どもたちに犬の塗り絵や、犬の折り紙をやってもらい、動物愛護の精神を学んでもらってきましたが、今年は「犬のクイズ」を行って、犬という動物への理解を深めてもらいました！みんな、楽しそうで良い笑顔でした！



4. 動物愛護フェスティバル(9/24)

H29年度の動物愛護フェスティバルは静岡市で開催。犬だけでなく色々な動物が参加し、ワンちゃんのパフォーマンスショウもありました。当クラブは、セラピードッグたちの活躍を紹介するパネル展示を行いました。

5.第8回 ぬまづ福祉まつり参加&特養「高砂」訪問

第8回ぬまづ福祉祭りに併せ、沼津市の特別養護老人ホーム「高砂」をセラピードッグたちと訪問し、入居者の皆さんとの触れ合い活動を実施。セラピードッグたちがおひとりずつ触れ合いに行くと、その表情も一変、笑顔がこぼれたり、中には昔を思い出してか泣き出してしまう方も。犬に触りたいという気持ちから、不自由な手が自然と伸びたり…これがまさにセラピードッグの力！

その後の恒例となったぬまづ福祉まつりでも素晴らしいパフォーマンスを披露してくれました！



6.第4回 ぬまづわんわん大運動会開催（11/19）

当クラブが飼い主とワンちゃん両方が楽しめるイベントとしてスタートさせた「ぬまづわんわん大運動会」も早くも4回目。今回も、色々なわんちゃんが終結し、コスプレウォーキング、マナー教室、マラソン大会、体力測定など、皆さん愛犬と楽しい1日を過ごされました～！



新たな飼い主募集！

(H30.3 現在)

沼津市松沢町で保護された老犬メス。富士市内のメンバーKさん宅で一時預かり中。最初は馴れず心配でしたが、預かりメンバーKさんの愛情のおかげで、ゆっくりコミュニケーションがとれるようになりました。嫌がる抱っこも、スキンシップで慣らしていく。よく声かけしながら松子ちゃんの不安を取り除いていく…特に老いたワンコにとっては優しいスキンシップが一番のケアになりますが、預かりさんのおかげで松子ちゃん、日に日に穏やかな顔になっています。

フィラリア感染しているので月一回のお薬はかかせませんが、シニアワンコの松子ちゃんはメッチャ元氣です～＼(^o^)／老犬に理解ある優しい里親さま探しています。よろしくお願いいいたします！

★柴 Mix 「松子ちゃん」推定 10 才～メス 7 キロ フィラリア感染
(投薬治療中) 混合ワクチン済み



★セラピードッグ育成募金へのご協力ありがとうございます！(募金箱設置の会社、お店など)

(株)ジャスコム/阿蘭陀館/リフテック/ペ・ド・ンヌ/沼津観光協会/わんのはな/パイネ動物病院/共生会
NPO SIDAM/ドッグサロン・ヒビ/トニーズホルル/ドッグカフェ ポワポワ/スナック ショップル/しゃんびにょん /あっぷりけ
クリーニングのサトウ/極メンチ/あにばんや/オレンジポット/ジェメラーレ/アイビー 他